

なぜ東京は首位から陥落したのか？

～Safe Cities Index 2021 のデータを読み解く～

英誌 Economist がまとめた世界の安全な都市ランキング 2021 年版で、東京は 3 回連続で守ってきた首位から陥落した (5 位)。代わって世界 60 都市の首位に立ったのはデンマークの首都コペンハーゲンで、トロント、シンガポール、シドニーが続いた。国内でもう一つの対象都市・大阪は前回の 3 位から 17 位に急落した。

評価された安全の領域は、デジタル、健康、インフラ、治安、そして新たに加わった環境の 5 つである。COVID-19 の世界的流行が順位の変動の要因かもしれない。

この輪講では、このランキングのデータを読み解きつつ、望ましい都市像について議論する。



資料： Safe Cities Index 2021 Whitepaper (日本語版あり)

Data Workbook (英語のみ)

(いずれも <https://safecities.economist.com> より DL 可)

対象： 学部 2 年生

日時： 相談により決定

形式： Zoom を用いたオンライン形式

担当： 樋野公宏准教授 (協力：中谷隼講師)

関心のある学生は hino@ua.t.u-tokyo.ac.jp (樋野) まで